

# 青森県八戸工業用水道事業の紹介

## ○事業の主旨

八戸工業用水道は、八戸地区が新産業都市に指定されたのに伴い、増大する用水需要に対処するため馬淵川を取水源として、昭和41年6月に給水を開始している。

八戸臨海工業地帯を対象に供給し、本県工業の発展に寄与している。

## ○事業の経緯

八戸臨海工業地帯は、セメント、化学、鉄鋼等の工場が立地し、東北地方屈指の臨海型工業地帯として発展してきた。

加えて、昭和39年新産業都市の指定を契機に第二臨海工業地帯の整備が積極的に進められ、臨海型素材生産工業が一段と集積したため、工業生産上不可欠の工業用水を豊富かつ低廉に供給するための工業用水道の建設に迫られた。

このことから、給水能力350,000m<sup>3</sup>/日の工業用水道事業が計画され、第一期工事として、200,000m<sup>3</sup>/日の施設を工事費約10億円をもって昭和39年4月に着工し、昭和41年6月竣工と同時に営業開始した。

その後、需要水量の増加が見込まれたことから、第二期工事として、150,000m<sup>3</sup>/日の施設を工事費7億4千万円をもって昭和44年4月に着工し、昭和45年10月から給水増量した。

平成20年4月1日現在、給水先は11社で、日量332,280m<sup>3</sup>の基本使用水量契約を締結している。

## ○青森県県土整備部整備企画課（公営企業）のホームページアドレス

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/koeikigyō>

## ○ユーザーの概要

(平成20年4月1日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
パイプ・紙	1	280,000
非鉄金属	2	27,800
化学	2	13,000
鉄鋼	1	1,680
酒類	1	2,500
発電所	1	2,200
石膏製品	1	1,500
その他	2	3,600
合計	11社	332,280

## ○工業用水道施設の概要

一級河川馬淵川の表流水を自然流下にて取水ポンプ井に導水し、取水ポンプで沈砂池に汲み上げ、除砂後送水ポンプ井に貯水した原水を配水ポンプで給水先へ圧送している。

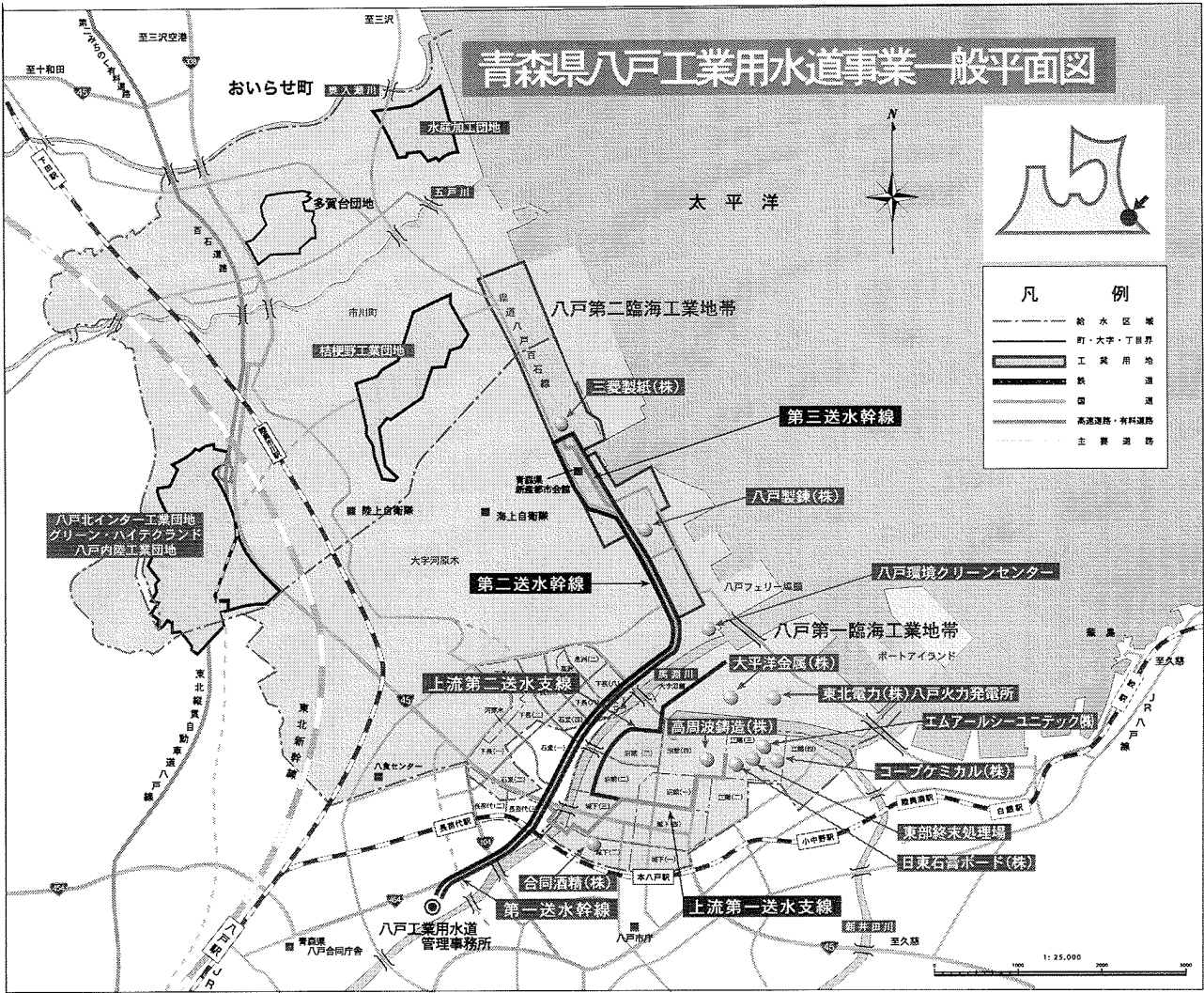
配水管は、総延長約21kmで、2幹線（延長各約7.3km、管径1350mm～1100mm）と2支線（延長約2.8km、約2.4km、管径900mm～500mm）及び水管橋（延長約0.3km、管径700mm×2条）である。

## ○事業の特徴

原水供給であることから、低廉な料金にて工業用水を供給している。

また、監視業務の委託化を始めとした外部委託の導入、人員の見直し等により、経営の効率化を図っている。

# 青森県八戸工業用水道事業一般平面図



凡 例	
	給水区域
	町・大字・丁目界
	工業用地
	鉄道
	国道
	高速道路・有料道路
	主要道路

1:25,000